

集中豪雨で甚大な被害（7月5日～7日）



7月5日午後から7日の午前にかけて、西日本を中心に停滞した梅雨前線の影響で、西日本から東日本にかけて広い範囲で記録的な大雨となりました。近隣では、飯塚市などが、河川の増水による道路の冠水・床上床下浸水などが多数発生し、大きな被害を受けました。

本町においても、5日の雨量は128ミリ、6日は353ミリと計2日間で、桂川町の年間降水量約1700ミリの約3割が降ったこととなります。これにより、穂波川の豆田橋にある水位計が6日午後2時に194センチ（氾濫危険水位180センチ）に達し、穂波川に近い中屋・寿命・豆田・瀬戸・第一豆田に避難指示（緊急）を発令しました。

更に、二反田団地付近の狩野ため池（3頁下段写真）では、大雨による影響で土砂崩れが発生した為、土師一区、二区、三区、二反田地区に、避難指示（緊急）を発令しました。

今回の豪雨災害は広範囲かつ甚大な被害となりましたが、この災害を教訓とし、防災意識の向上を図ることが急務であると考えます。改めて自然災害の恐ろしさを痛感する3日間となりました。